

2025年、思いを込めて歩もう

校長 石村直義

2025年、どのような新年を迎えられたでしょうか。大晦日深夜のカウントダウン・イベントが流行るようになって久しいです。テレビでも中継があって「3、2、1、『あけましておめでとう!』」などと盛り立ってます。ほんの一瞬でその時はやってきて、新しくなったというワクワク感はあるのですが、実質的にどうでしょう。自分自身に新しさを感じた方はどのくらいいるでしょうか。この新しさを現実化するためにも、思いを込めることが大切です。私の両親はそのような儀式を持つことはありませんでしたが、1月1日の朝食時、家族全員が食卓に着き、お雑煮とおせち料理を前に新年の挨拶をし、一人ずつ自分の今年の目標を述べるのが恒例だ、というご家庭のお話を聞いたことがあります。「一年の計は元旦にあり」という諺（ことわざ）があります。「充実した一年を送るためには、一年の初めにきちんと目標や計画を立てて努力することが大事だ。物事は初めが大事。」という意味です。もう一週間以上が経ち、お正月気分も醒めたことですが、新年を機に立てた目標などの進捗状況はいかがでしょう。やみくもに全くかけ離れた目標を立てても、どうせできるわけではないと気持ちが入りません。かといって三日のうちにすぐできるようなことを一年の目標にしても、意味がありません。今すぐにはできないが、自分の取り組み次第で是非達成したいこと、それが目標になり得ることです。勿論、掲げるだけでなく、目標を意識した行動が必要です。時には苦しいことや挫折もあるかもしれません。しかし努力したことは裏切らず前進につながりますから、もう一度目標を見上げて立ち上がりましょう。一歩一歩を踏み出そうとする気持ちが大切です。

三学期、本年度の締めくくりです。三年生は卒業という一つの区切りを迎えます。今何をすべきかをしっかりと心の中に見つめ、思いを込めて歩みましょう。

この「活ける泉」をお読みくださるすべての方々のこの一年が、幸せなものでありますよう心よりお祈りいたします。

創立記念式典

11月30日（土）に145周年の創立記念式典を中学高校大学と合同でチャペルにて礼拝形式で挙行了しました。当日は創立記念日の歌や校歌を歌った後、活水短大を卒業された加藤茜愛様が卒業生の話として学生時代の思い出やANAのCAとしての体験談や苦労話、またインストラクターになってからの人材育成についてなど話してくださいました。145年という長きにわたる伝統の重みとその一員としての自覚と誇りを胸に抱く一日でした。（平野智也）



クリスマスページェント

12月20日（金）クリスマス礼拝ページェントがささげられました。

各学年から舞台上で演じる役者が選ばれ、放送部による聖書朗読、ナレーション、吹奏楽部とオルガニストによる奏楽、樟トゥインクルスターズや有志生徒による賛美があります。舞台の上や演奏以外にも、見えないところで、演劇部員が照明を操作し、YWCA生徒が小道具や衣装、舞台上の道具を移動し、写真部が背景や讃美歌の投影をしています。チャペルの座席に座っている生徒も、観客ではなく、讃美歌やハレルヤコーラスを歌う聖歌隊の役割を担っています。クリスマス礼拝ページェントは、活水中高みんなでの捧げものなのです。今年も、全校で心を込めたクリスマスの捧げものをし、御子のご降誕の喜びがチャペルいっぱい溢れる時となりました。（三河悠希子）



（生徒感想）
〇毎年、ページェントの練習が始まると、クリスマスが近づいている実感がわいてきます。私は照明でスポットライトを担当しましたが、1番印象に残っている場面は、博士がイエス様に贈り物をささげる場面です。授業で習った黄金、乳香、没薬の意味を考えながら、スポットを当てています。スポットは役者を際立たせる大切な役割なので、役者が観客にどう見えるのか考えながら、劇全体の雰囲気を作り出せるように努力しました。来年も頑張りたいです。（照明 演劇部 兼田百花）

〇高校最後のページェントにナレーションとして参加することができてとても嬉しかったです。練習の中で特に苦労したことは、わかりやすく伝えるための工夫です。ナレーションはページェントのお話を説明する大切な役割です。どの言葉を強調するか、抑揚をどうつけるか、考えながら練習を重ねてきました。本番は美しいページェントの世界を作り上げることができました。このページェントが皆の心に残るものになっていたら幸いです。（ナレーション 放送部 満寄梨々花）

〇中1の頃からずっと見てきたページェントに出演できると聞いた時、「え、なんで私なんだろう」と不安な気持ちでいっぱいでした。練習が始まって、セリフがないので、大きく体を動かすことや、常に笑顔でいることを特に大切にしてきました。また、他の学年の出演者や様々な部活からの参加者と協力することで、活水での楽しい思い出が増えました。何より、高校3年生、最後の年にページェント出演という貴重な経験ができたことに感謝しています。（エリサベト役 田原里桜）

活水高校・活水中学校 公式Instagram



活水の日々の活動はこちら

わたし、輝く。ともに、輝く。
高校 特別入試 1月16日（木）
高校 一般入試 2月 1日（土）
中学校 B入試 1月25日（土）

8 (土)	7 (月)	5 (月)	1 (土)	31 (金)	25 (土)	24 (金)	22 (水)	18 (土)	16 (木)	15 (水)	11 (土)
高II模試(〜9日)	第3回漢字検定	高I活水女子大学4年生 パネルディスカッション	高校一般入試	高III授業終了	英検一次	高III大学入学共通テスト個人面談	全校人権教育	高I模試	大学入学共通テスト(〜17日)	自宅学習日(〜17日)	高I小論文模試・40分授業
			2月行事予定				1月行事予定				



今月の聖句

「私の目にあなたは価高く、貴い」（イザヤ書43章4節）

学校生活の中で私たちは、自分と周りの人を比べます。自分の成績はこのくらいだからクラスの中では何番目くらいとか、部活動の同じパートの中で真ん中ぐらいの技術かなとか考えます。人と比べることは、自分の位置を客観的に見つめ、改善していくために重要です。でも、必要以上に周りと比較すると、自信を失ってしまうこともあります。そんなときは、「神様はわたしのことどう思っておられるのかな」と考えてみてください。絶対的な基準である神様は、あなたのことを「価高く、貴い」と断言なさいます。あなたが大切に、あなたは素晴らしいとおっしゃるのです。神様はこの世界を創造され、私たち人間を造られた方です。その神様が「あなたは大切、素晴らしい」とおっしゃるので、新しい年、自信を持って、いろいろなことにチャレンジしてみてください。（三河悠希子）

中学特別行事

期末考査が終了した翌日、11月29日(金)、特別行事としてグラバー園に行きました。各学年が総合学習のテーマに沿って調べ学習を行いました。また、中学3年生は、グラバー園での活動後に長崎県立美術館に移動し、「ブラックジャック展」を鑑賞しました。

中1

生命(いのち)をテーマとした中1は、グラバー園に咲くお花の観察を中心に伝統的建造物に触れました。

(生徒感想)
○建物の周辺に咲く花は、建物を輝かせるかのようにたくさんの花が華やかに咲いていました。

○旧グラバー住宅は、日本の瓦を使った和風と洋風が組み合わさった住宅でとても素敵でした。(常泉晶子)



中2

昭和ごろの写真と今の様子を見比べながら、時代の変化によって変わったところ、変わらずに再現されているところなどを感じることができました。グラバー園を訪れた分部さんは「グラバー園へ行く機会がありませんので、久しぶりに行って見て、改めて長崎の歴史を知ることができました」と感想を述べました。(馬場彬)



中3

1学期から長崎のバリアフリーについて触れてきました。今回、グラバー園と美術館に行き、高齢者の方の目線に立ち、多くのことを考えました。グラバー園には、車椅子専用の通路があることを知り、たくさんの方に観光してもらえる工夫があることに気づきました。普段、当たり前前に生活している場所に様々なバリアフリーがあることに気づくことができ良かったです。(向井杏奈)



優秀賞受賞～弁論九州大会～

12月13日(金)～14日(土)福岡で開催された第8回全九州高等学校総合文化祭【弁論部門】に高Ⅱの竹内侖さんが出場し、見事優秀賞(第4位)を受賞しました。竹内さんは、「Peace is…」と題して、これまで行ってきた平和活動やケニアなどでのボランティア活動の経験から、今世界で高まっている核の脅威、子どもの貧困の深刻化について、まず知ることから始めましょうと力強く訴えました。7月に行われる「かがわ総文2025」にも出場予定です。



(野田定延)

軽音楽同好会最優秀賞

12月14日創成館高校にて開かれた、「第1回長崎県高等学校軽音楽発表会」にて本校軽音バンド「乙女の黙示録」(オトメノモクシロック)が最優秀賞を獲得しました。本県代表として3月に久留米座にて行われる全国高等学校軽音楽発表会へ出場します。



ベース ⅢB白石、ボーカル ⅡA田端
ドラムスⅡB瀬川、ギター ⅡC上吉原
(山口真樹人)

吹奏楽部 定期演奏会

12月14日(土)ブリックホールにて第10回定期演奏会を行いました。今回は10回記念として3人のゲストを迎え、その中の作曲家の先生に吹奏楽部オリジナル合唱も作っていただきました。また、小学生のKwassuiジュニアやOGチームも結成し練習に励みました。当日は沢山のお客さまに来ていただき沢山の拍手をいただきながらⅢ年生は引退となりました。11回に向けてスタートを切りました。新たな活水吹奏楽部の応援よろしく申し上げます!(杉町たまみ)



吹奏楽部 市長表敬訪問

12月12日(木)マーチング全国大会金賞の報告会として長崎市長にお会いしました。金賞をとるまでの練習の経緯や苦労を質問されました。マーチングリーダーの峰和香奈さん、サブリーダーの宮崎紀花さんが答え、会は和やかな雰囲気となりました。市長からは、「次は是非海外演奏に行かれては?」と仰っていただき、新たな目標が出来ました。



(杉町たまみ)

クリスマス献金

131,228円となりました。ありがとうございました。

*捧げられた献金は次の施設・団体にお送りしました。
日本聾話学校,日本基督教団教育委員会,
日本キリスト教海外医療協力会,国連難民
高等弁務官事務所,チャイルド・ファン
ド・ジャパンなど全11団体
(三河悠希子)

大会等成績

<バレー>

長崎県ソフトバレーボールフェスティバル
レディース・フリーの部 優勝 活水A
NAGASAKIビーチバレーボール大会 準優勝

<卓球>

長崎県高等学校新人体育大会卓球競技長崎地区予選
女子シングルス 第3位 門田莉衣音

<弓道部>

全国高等学校弓道選抜大会
女子個人 7位 中山梨優

<図書委員会>

ライブラリーフェスティバル県大会
ビブリオバトル チャンプ本
『マチルダは小さな大天才』 吉田幸加
(長崎県代表、2025年1月全国大会出場)
広報紙コンクール 優秀賞 活水高等学校
全国高校生図書館研究大会
『全国高校生図書館サミット』
ビブリオバトル チャンプ本
『マチルダは小さな大天才』 吉田幸加

<吹奏楽部>

長崎県アンサンブルコンテスト
中学生の部 金賞・代表
松倉未来・宮崎結花・藤原純希
高校生の部 金賞・代表
巽悠久美・一瀬愛奈・大坪優
堤小蘭・山田凜桜・世古綾菜
濱崎美友・筑後裕月

<軽音楽同好会>

長崎県高等学校軽音楽発表会 最優秀賞
(長崎県代表、2025年3月全国大会出場)
バンド名:乙女の黙示録(オトメノモクシロック)
白石麻里奈・田端夏美
瀬川史稀・上吉原茉裕

<個人>

核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会
地球市民フェス2024平和絵画コンテスト
最優秀賞 荒木海空
優秀賞 山田佳音
長崎外国語大学英語ポキャブラリーコンテスト
優勝 島田朱莉・松本彩希
(岩永崇史)